

8 日本語で面接を受ける



8課では、日本語で面接を受けるときのマナーや注意点について学びます。

例1 アルバイト先で

1. 各コマについて

1コマ目	アルバイトの面接が終わった場面。「来週から仕事を始めてください」という採用内定の告知に「はい!」とはりきって答える留学生。
2コマ目	店長が具体的な業務の内容を説明し始めたが、留学生はよくわからない。「あ、はい」ととりあえず返事をする留学生。
3コマ目	ところどころ知っている言葉はあるが、説明の内容は理解できない留学生。「ええ、はい」と生返事をしていると、店長の説明が続き、さらにわからなくなる。
4コマ目	店長の説明は30分続いたが、留学生は内容がほとんど理解できなかった。最後に「何か質問、ある?」と聞かれ、小さな声で「ありません」と答える留学生。

2. 話し合いのポイント

- 日本語でわからないことがあったとき、どんな場合に相手に聞き返したほうがいいのか、また、効果的な聞き返しの方法はどんなものか考えることがここでのポイントです。
- 例えば、漫画に描かれたアルバイトでの業務内容の説明を受けるような場面では、きちんと質問したり、聞き返したりして不明なことを明確にしておかないと、問題が生じる恐れがあります。一方で、雑談などでは、わからないことがあってもわかったふりをしていたほうが話の腰を折らず、相手に悪い印象を与えずに済むなどという利点もあります。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 日本語の授業以外に日本語を使った経験がほとんどない学習者は、聞き返し表現をあまり知らないかもしれません。そのような場合、本冊 pp.206～207の「聞き返し」のページを見て、聞き返し表現を紹介するといいでしょう。
- 聞き返しをしたほうがいいのかと、そうでない場合とを学習者に考えてもらい、挙げてもらうといいでしょう。また、効果的な聞き返しの仕方についても具体的な場面を想定して学習者に考えてもらうといひと思います。
- 日本語で話を聞いて、わからないことがあったとき、どうしたか、何が難しかったのか、学習者の体験を話してもらい、クラスで共有してもいいと思います。

例2 大学入試の面接で

1. 各コマについて

1コマ目	留学生が大学入学の面接試験を受けている場面。入学後にどのような勉強をしたいかと問われ、「友好のかけ橋」になるための勉強をすると答える。
2コマ目	「友好のかけ橋」になるための勉強ではよくわからず、面接官は何を勉強するのか尋ねる。留学生は何を勉強したいのか考えておらず、焦りながら「いろいろ、たくさん勉強する」と具体性のない答えを繰り返す。
3コマ目	留学生が何を学びたいのかわからず、面接官は大学で学んだ後、卒業後の進路を尋ねる。留学生はまたも具体性のない「友好のかけ橋になる」「いろいろ、いい仕事をしたい」などと答える。
4コマ目	面接官は結局、この留学生について知りたい答えが得られないまま面接を終える。留学生は準備したことが言えたので面接の受け答えに答えられたと満足している。

2. 話し合いのポイント

- ここでは、面接官の質問と留学生の答えとが、どうチグハグなのかについて気づいてもらうことが1つ目のポイントです。そして、面接ではどんな内容の答えをすればいいのか、そのためにどんな準備が必要なのかについて考えることが2つ目のポイントです。
- 「友好のかけ橋」のような目的を述べるのが間違っているわけではありません。しかし、面接は自分がどんな人間なのか面接官に知ってもらい、自分も面接する側の求める条件を知る相互理解の場だと考えると、人となりが見えてこない抽象的な答えで終始してしまうことは効果的ではありません。ここでは、面接のノウハウを知ることにとどまらず、どうして具体性のある答えをする必要があるのか、そもそも面接はどのような場なのかということまで学習者に考えてもらえるといいでしょう。
- 上記のような理由から、漫画の4コマ目との関連で、面接では単に自分が準備してきたことを言えいいというわけではない点もおさえておきたい点です。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 漫画の留学生の答えに具体性がないという問題点の指摘ができれば、どうして具体性のない答えが良くないのかまで考えてもらうようにするといいでしょう。
- 面接官の視点に立って、この留学生をどう評価するかを考えてもらうといいでしょう。特に、4コマ目で留学生はうまくいったと確信していますが、本当にそうなのか、学習者に話し合ってもらいたいと思います。

例3 会社説明会で**1. 各コマについて**

1コマ目	トム（留学生、左）は、企業の合同説明会の会場で、噂どおり同じようなリクルートスーツに身を包んでいることに感心する。
2コマ目	トムは知り合いの日本人学生、彩に会い、説明会の受付と一緒に並ぼうと声をかけられる。
3コマ目	トムは一瞬目を離した際に彩の姿を見失ってしまう。きよろきよろしていると「ここだよ」と彩の声がする。
4コマ目	同じような格好をした参加者が多く、トムは後姿だけでは彩を見つけることができない。

2. 話し合いのポイント

- ここでは日本での新卒者の就職活動について知ることがポイントです。新卒者の場合、就職活動期間が決まっており、その時期を逃すと就職が難しいことなども説明するといいいでしょう。また、リクルートスーツについても知らない学習者がいると思われるので、予め説明をするといいいでしょう。
- ただし、同じ面接でも、アルバイトの場合は服装もカジュアルだったり、中途採用の場合は期間が限定されなかったりすることも伝えておいたほうが、学習者のステレオタイプ形成を防ぐことができるかもしれません。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 実際にはここまでまったく同じ格好をすることはなく、漫画で強調している面もある点はフォローしておいたほうがいいかもしれません。
- 就職活動になじみがない学習者の場合は、ユニフォーム的に同じような服装が好まれる場合について話してもらってもいいでしょう。
- 学習者の出身国での新卒者の就職活動事情を話してもらい、日本式の就職活動と比較して、それぞれのメリット、デメリットを挙げてもらってもいいでしょう。